

令和3年度第2回「広島市いじめ問題対策連絡協議会」配席図

会長 広島市公立中学校長会		副会長 広島弁護士会	
広島人権擁護委員協議会			広島市教育委員会 学校教育部 生徒指導課 いじめ対策推進担当課長
広島県社会福祉士会			広島市小学校長会
広島市医師会			広島市立高等学校長会
広島市PTA協議会			広島市児童相談所
広島県臨床心理士会	広島県警察本部	広島法務局	
事務局			
広島市教育委員会 学校教育部 生徒指導課		広島市教育委員会 青少年育成部 育成課	

令和3年度 第2回 広島市いじめ問題対策連絡協議会

日時 令和3年11月25日(木)
18:30～20:15
会場 広島市役所本庁舎14階 第7会議室

次 第

1 説 明

- (1) 令和2年度不登校・いじめ・暴力行為の状況について【資料2】

2 協議・情報交換

- (1) 事例検討（関係機関の連携の在り方）【資料3】

【配布資料】

- ・ 出席者名簿、配席図、実施要項
- ・ 資料1～3
- ・ 基礎資料A（設置要綱）、B（公開要領）、C（傍聴要領）

令和2年度

不登校・暴力行為・いじめの状況について(報告)

広島市教育委員会学校教育部生徒指導課

目 次

<不登校児童生徒の状況>

1 不登校児童生徒数及び1,000人当たりの不登校児童生徒数(全国・指定都市との比較) . . .	1
2 学年別不登校人数	2
3 欠席日数別人数	2
4 相談・指導を受けた機関等	3

<暴力行為の状況>

1 暴力行為の発生件数及び1,000人当たりの発生件数(全国・指定都市との比較)	4
2 暴力行為の形態別発生件数	5
3 学年別加害児童生徒数	5

<いじめの状況>

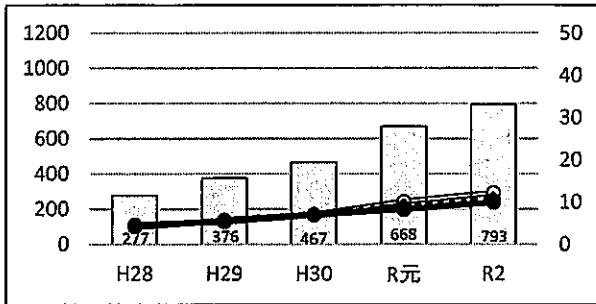
1 いじめの認知件数及び1,000人当たりの認知件数(全国・指定都市との比較)	6
2 いじめの認知件数の学年別内訳	7
3 いじめの発見のきっかけ	8
4 いじめの現在の状況	9

＜不登校児童生徒の状況＞

1 不登校児童生徒数及び1,000人当たりの不登校児童生徒数(全国・指定都市との比較)

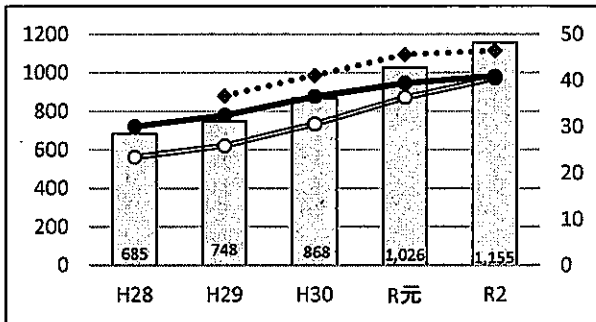
小学校

	不登校児童数		1000人あたりの不登校児童数	
	広島市	広島市	指定都市	全国
H28	277	4.2		4.7
H29	376	5.7	5.9	5.4
H30	467	7.1	7.3	7.0
R元	668	10.1	9.2	8.3
R2	793	12.2	10.9	10.0



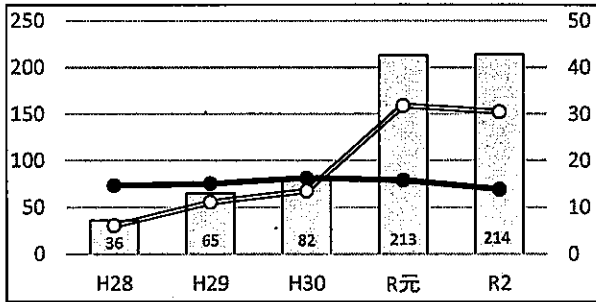
中学校

	不登校生徒数		1000人あたりの不登校生徒数	
	広島市	広島市	指定都市	全国
H28	685	23.5		30.1
H29	748	25.9	36.7	32.5
H30	868	30.6	41.1	36.5
R元	1,026	36.3	45.6	39.4
R2	1,155	40.5	46.4	40.9



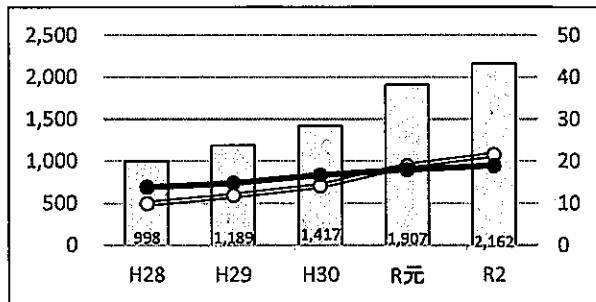
高等学校

	不登校生徒数		1000人あたりの不登校生徒数	
	広島市	広島市	全国	
H28	36	6.1	14.7	
H29	65	11.1	15.1	
H30	82	13.5	16.3	
R元	213	31.8	15.8	
R2	214	30.5	13.9	



小・中・高合計

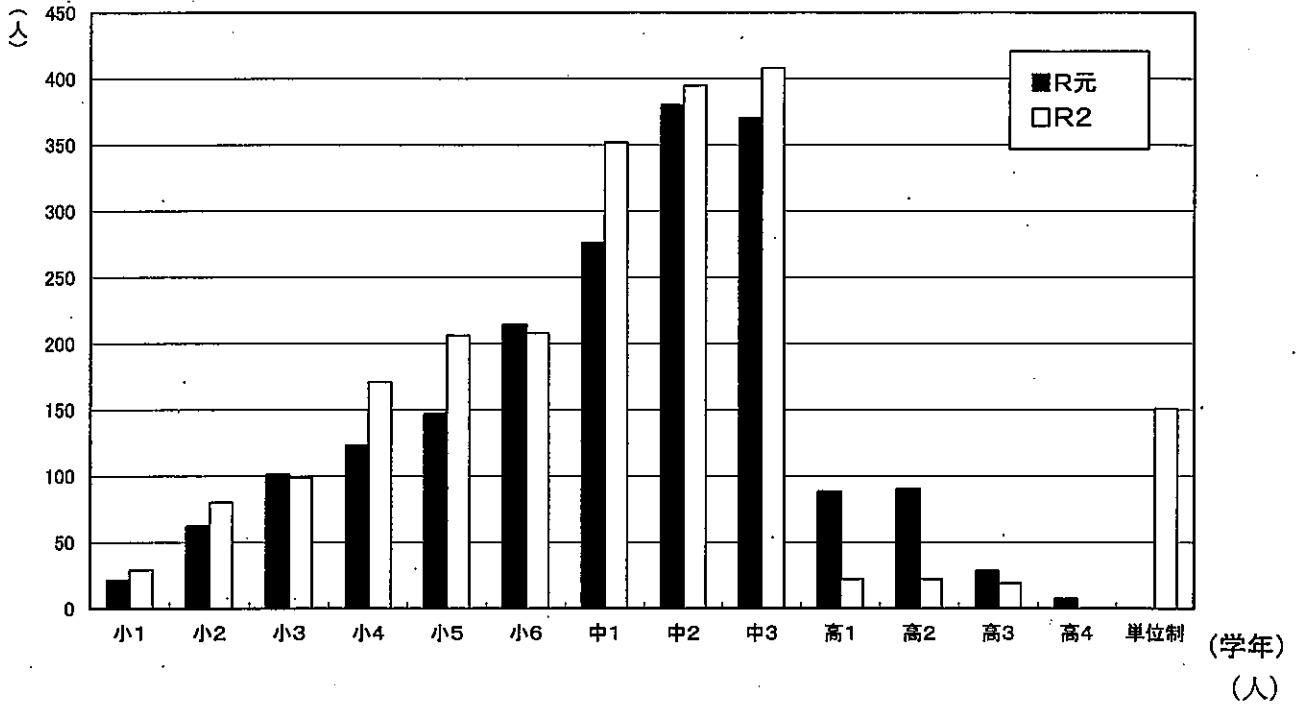
	不登校生徒数		1000人あたりの不登校生徒数	
	広島市	広島市	全国	
H28	998	9.9	13.8	
H29	1,189	11.8	14.8	
H30	1,417	14.1	16.7	
R元	1,907	18.9	18.0	
R2	2,162	21.5	18.9	



※ 凡例共通

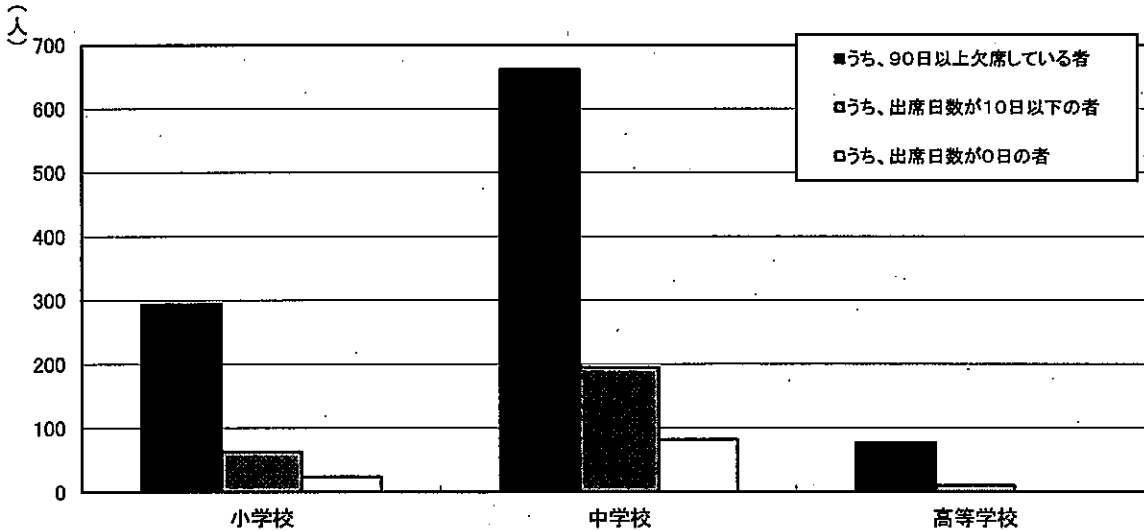
- 広島市(不登校児童生徒数)
- 広島市(1000人あたりの不登校児童生徒数)
- 指定都市(1000人あたりの不登校児童生徒数)
- 全国(1000人あたりの不登校児童生徒数)

2 学年別不登校人数



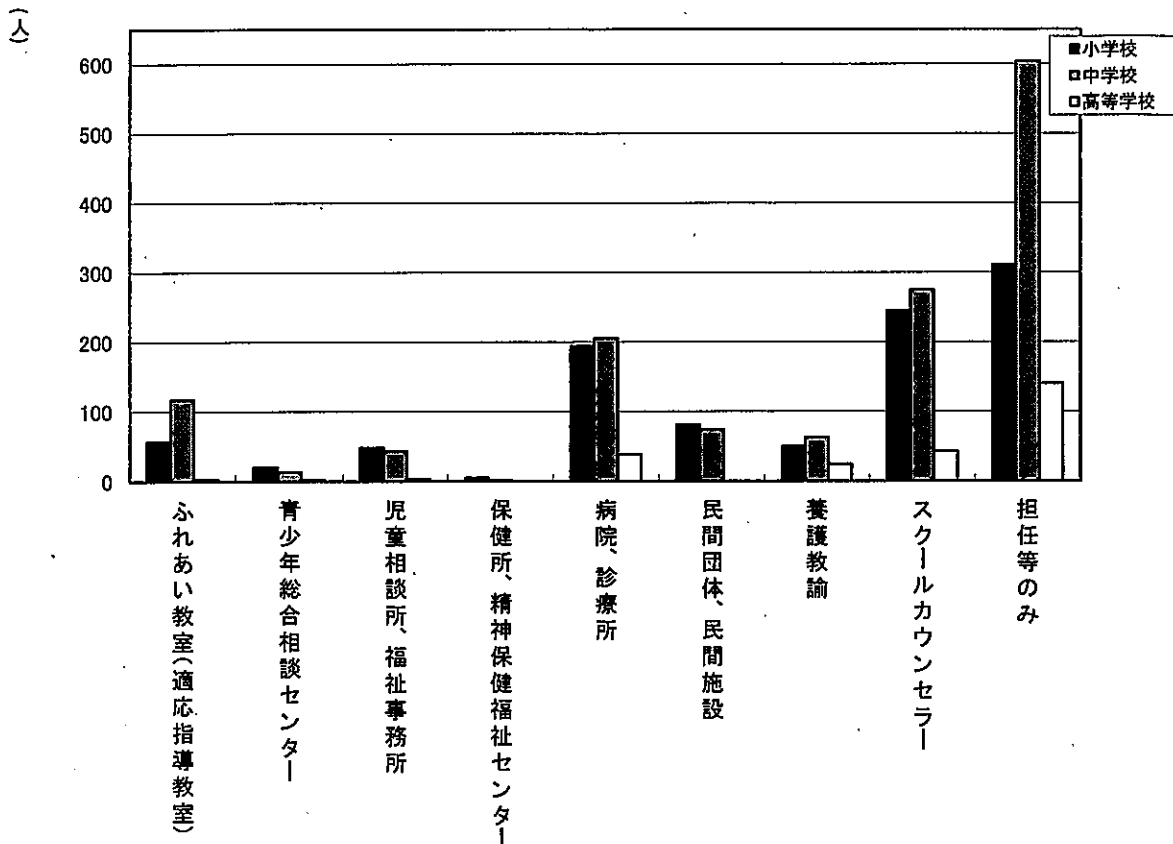
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高4	単位制	合計
R元	21	62	101	123	147	214	276	380	370	88	90	28	7		1,907
R2	29	80	99	171	206	208	352	395	408	22	22	19	0	151	2,162

3 欠席日数別人数



区分	不登校児童生徒数		うち、90日以上欠席している者						うち、出席日数が10日以下の者						うち、出席日数が0日の者						
	R2		R元		R2		R元		R2		R元		R2		R元						
	全国	広島市	広島市	全国	広島市	広島市	全国	広島市	広島市	全国	広島市	広島市	全国	広島市	広島市						
	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)				
小学校	63,350	793	668	27,736	43.8	294	37.1	239	35.8	5,640	8.9	63	7.9	53	7.9	2,095	3.3	24	3.0	27	4.0
中学校	132,777	1,155	1026	30,035	60.3	662	57.3	675	65.8	19,928	15.0	195	16.9	208	20.3	6,166	4.6	82	7.1	66	6.4
高等学校	43,051	214	213	8,455	19.6	77	36.0	73	34.3	1,985	4.6	10	4.7	3	1.4	569	1.3	0	0.0	1	0.5
合計	239,178	2,162	1907	116,226	48.6	1,033	47.8	987	51.8	27,553	11.5	268	12.4	264	13.8	8,830	3.7	106	4.9	94	4.9

4 相談・指導を受けた機関等(複数回答)



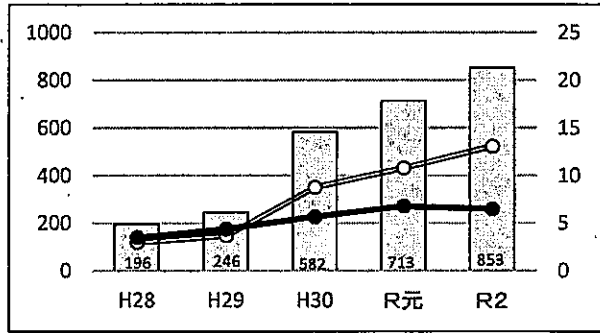
区分	小学校		中学校		高等学校		合計										
	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元									
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)									
学校外	ふれあい教室(適応指導教室)	57	7.2	40	6.0	117	10.1	132	12.9	3	1.4	1	0	177	8.2	173	9.1
	青少年総合相談センター	20	2.5	12	1.8	13	1.1	13	1.3	2	0.9	0	0	35	1.6	25	1.3
	児童相談所、福祉事務所	48	6.1	29	4.3	43	3.7	46	4.5	3	1.4	1	0	94	4.3	76	4.0
	保健所、精神保健福祉センター	5	0.6	7	1.0	1	0.1	3	0.3	0	0.0	0	0	6	0.3	10	0.5
	病院、診療所	194	24.5	134	20.1	205	17.7	94	9.2	38	17.3	25	12	437	20.2	253	13.3
	民間団体、民間施設	81	10.2	48	7.2	74	6.4	44	4.3	0	0.0	0	0	155	7.2	92	4.8
学校内	養護教諭	50	6.3	57	8.5	63	5.5	63	6.1	24	11.2	30	14	137	6.3	150	7.9
	スクールカウンセラー	245	30.9	214	32.0	275	23.3	274	26.7	43	20.1	25	12	563	26.0	513	26.9
	担任等のみ	311	39.2	260	38.9	604	52.3	478	46.6	140	65.4	12	6	1055	48.8	750	39.3

＜暴力行為の状況＞

1 暴力行為の発生件数及び1,000人当たりの発生件数(全国・指定都市との比較)

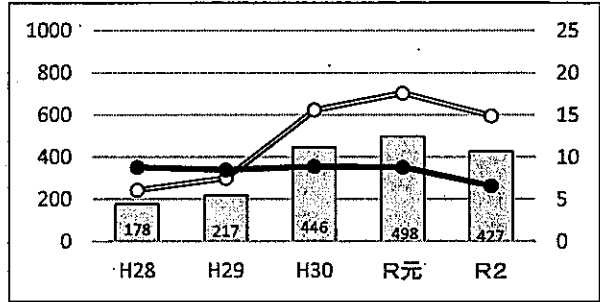
小学校

	発生件数		1000人あたりの発生件数	
	広島市	広島市	全国	
H28	196	3.0	3.5	
H29	246	3.7	4.4	
H30	582	8.8	5.7	
R元	713	10.8	6.8	
R2	853	13.1	6.5	



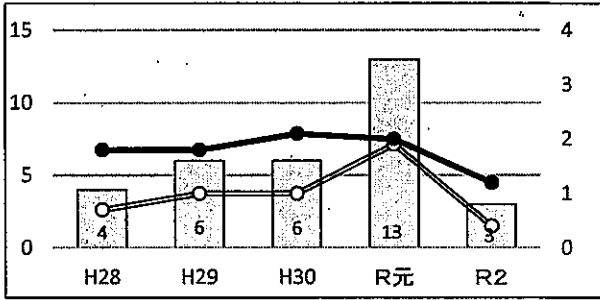
中学校

	発生件数		1000人あたりの発生件数	
	広島市	広島市	全国	
H28	178	6.1	8.8	
H29	217	7.5	8.5	
H30	446	15.6	8.9	
R元	498	17.6	8.8	
R2	427	14.9	6.6	



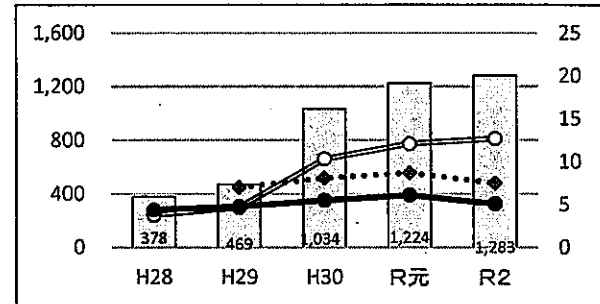
高等学校

	発生件数		1000人あたりの発生件数	
	広島市	広島市	全国	
H28	4	0.7	1.8	
H29	6	1.0	1.8	
H30	6	1.0	2.1	
R元	13	1.9	2.0	
R2	3	0.4	1.2	



小・中・高合計

	発生件数		1000人あたりの発生件数	
	広島市	広島市	指定都市	全国
H28	378	3.8		4.4
H29	469	4.7	7.0	4.8
H30	1,034	10.3	8.1	5.5
R元	1,224	12.1	8.7	6.1
R2	1,283	12.7	7.5	5.1



※ 凡例共通

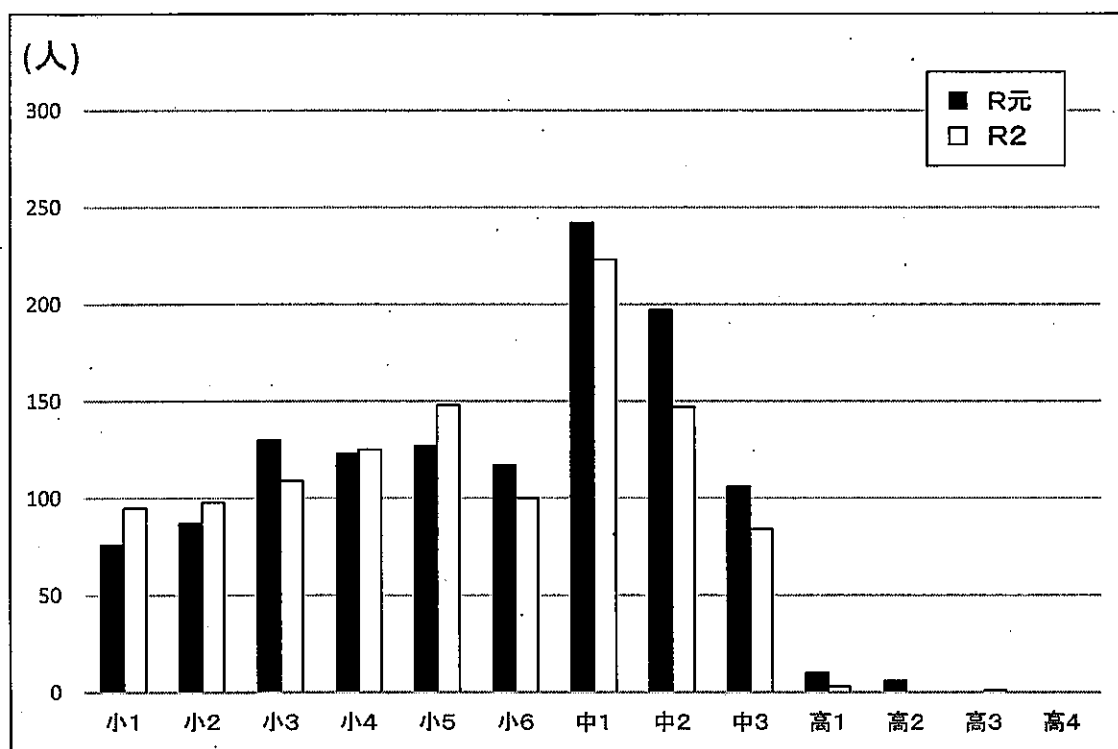
- 広島市(暴力行為発生件数)
- 広島市(1000人あたりの暴力行為発生件数)
- 指定都市(1000人あたりの暴力行為発生件数)
- 全国(1000人あたりの暴力行為発生件数)

2 暴力行為の形態別発生件数

(件)

区分	令和2年度					令和元年度				
	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計
小学校	131	640	11	71	853	105	534	1	73	713
中学校	26	331	14	56	427	58	359	8	73	498
高等学校	1	2	0	0	3	3	6	0	4	13
合計	158	973	25	127	1,283	166	899	9	150	1,224

3 学年別加害児童生徒数



(人)

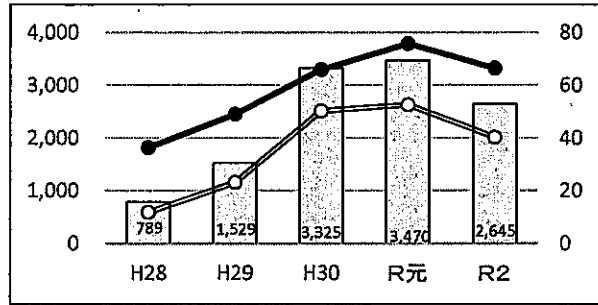
区分	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高4	合計
R元	76	87	130	123	127	117	242	197	106	10	6	0	0	1221
R2	95	98	109	125	148	100	223	147	84	3	0	1	0	1133

＜いじめの状況＞

1 いじめの認知件数及び1,000人当たりの認知件数（全国・指定都市との比較）

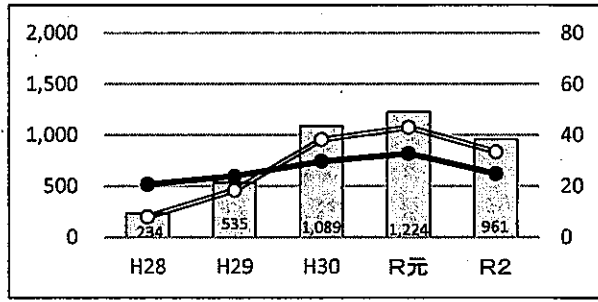
小学校

	認知件数		1000人あたりの認知件数	
	広島市	広島市	全国	
H28	789	12.0	36.5	
H29	1,529	23.3	49.1	
H30	3,325	50.3	66.0	
R元	3,470	52.6	75.8	
R2	2,645	40.4	66.5	



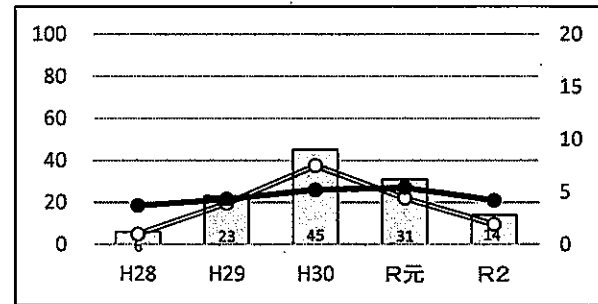
中学校

	認知件数		1000人あたりの認知件数	
	広島市	広島市	全国	
H28	234	8.1	20.8	
H29	535	18.5	24.0	
H30	1,089	38.3	29.8	
R元	1,224	43.1	32.8	
R2	961	33.5	24.9	



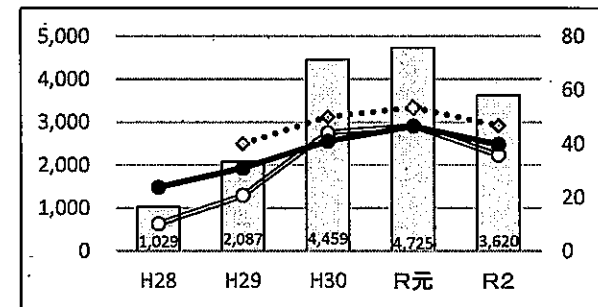
高等学校

	認知件数		1000人あたりの認知件数	
	広島市	広島市	全国	
H28	6	1.0	3.7	
H29	23	3.9	4.3	
H30	45	7.5	5.2	
R元	31	4.4	5.4	
R2	14	1.9	4.2	



小・中・高合計

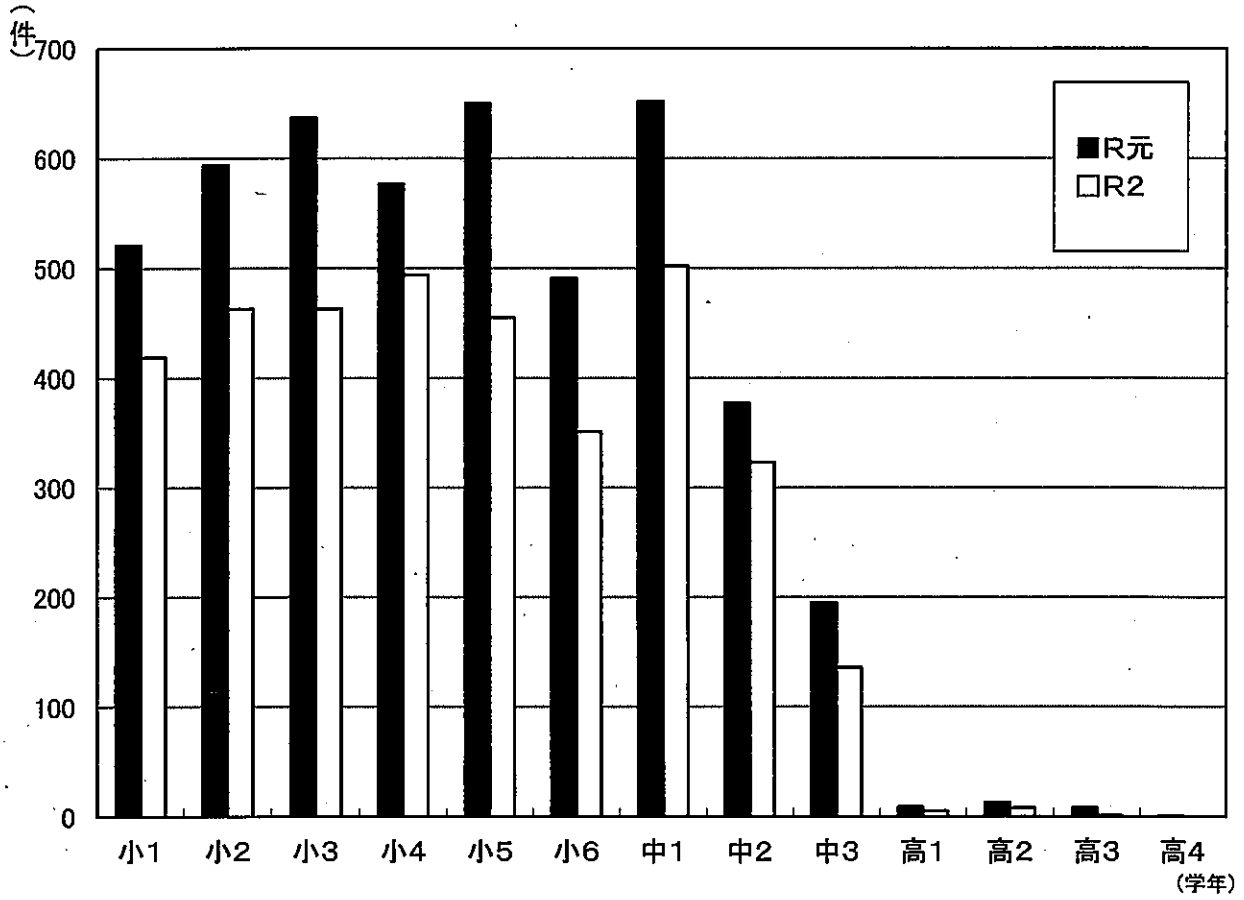
	認知件数		1000人あたりの認知件数	
	広島市	広島市	指定都市	全国
H28	1,029	10.2		23.8
H29	2,087	20.7	40.0	30.9
H30	4,459	44.1	50.0	40.9
R元	4,725	46.6	53.4	46.5
R2	3,620	35.8	46.7	39.7



※ 凡例共通

- 広島市(いじめ認知件数)
- 広島市(1000人あたりのいじめ認知件数)
- ◆ 指定都市(1000人あたりのいじめ認知件数)
- 全国(1000人あたりのいじめ認知件数)

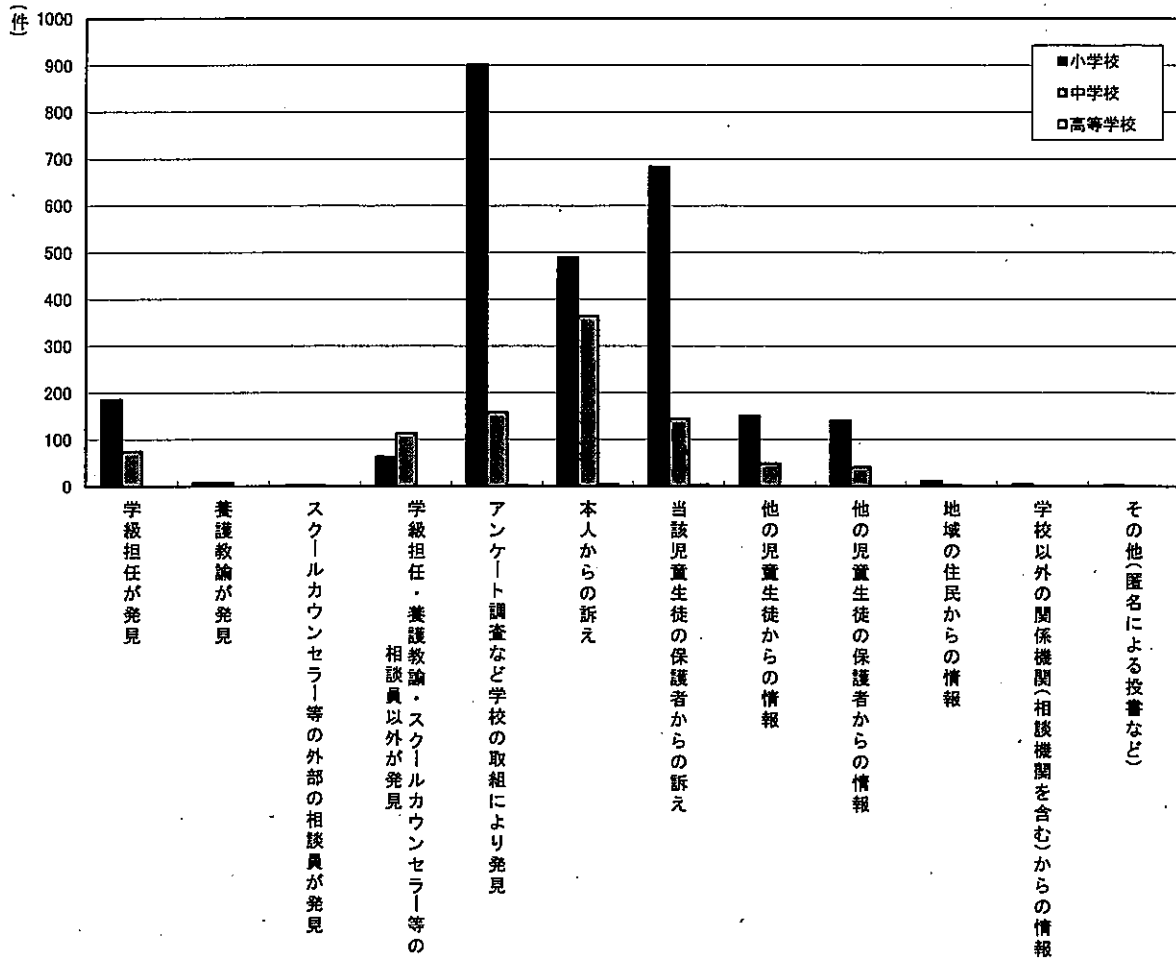
2 いじめの認知件数の学年別内訳



(件)

区分	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高4	合計
R元	521	594	637	577	650	491	652	377	195	9	13	8	1	4,725
R2	419	463	463	494	455	351	502	323	136	5	8	1	0	3,620

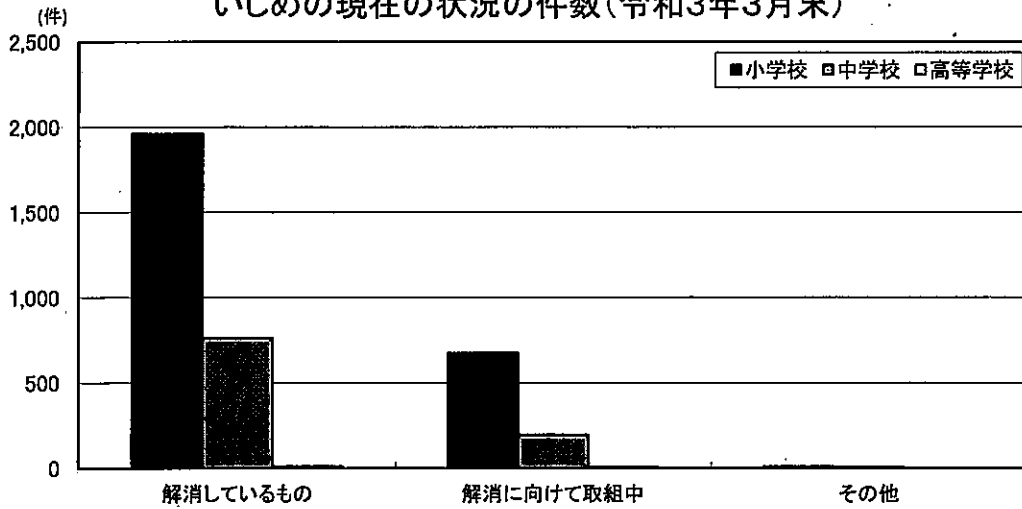
3 いじめの発見のきっかけ



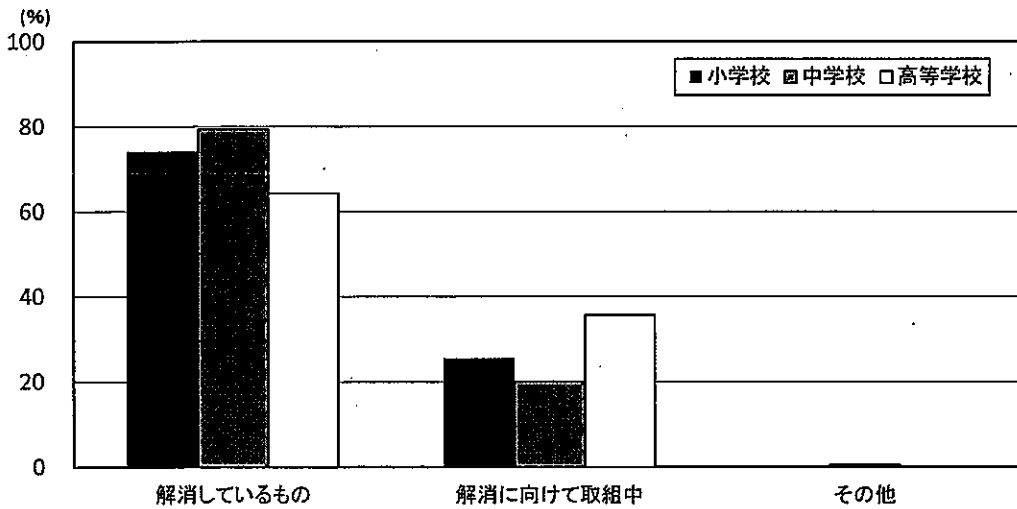
区 分	小学校				中学校				高等学校				合 計			
	R2		R元		R2		R元		R2		R元		R2		R元	
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
学級担任が発見	186	7.0	332	9.6	75	7.8	122	10.0	0	0	0	0	261	7.2	454	9.6
養護教諭が発見	7	0.3	7	0.2	7	0.7	10	0.8	0	0	0	0	14	0.4	17	0.4
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	2	0.1	4	0	3	0.3	7	0.6	0	0	0	0	5	0.1	11	0.2
学級担任・養護教諭・スクールカウンセラー等の相談員以外が発見	63	2.4	93	2.7	114	11.9	154	12.6	1	7.1	1	3.2	178	4.9	248	5.2
アンケート調査など学校の取組により発見	902	34.1	1125	32.4	159	16.5	204	16.7	2	14.3	1	3.2	1063	29.4	1330	28.1
本人からの訴え	490	18.5	621	17.9	364	37.9	342	27.9	5	35.7	16	51.6	859	23.7	979	20.7
当該児童生徒の保護者からの訴え	683	25.8	998	28.8	145	15.1	264	21.6	4	28.6	7	22.6	832	23.0	1269	26.9
他の児童生徒からの情報	151	5.7	203	5.9	49	5.1	99	8.1	1	7.1	5	16	201	5.6	307	6.5
他の児童生徒の保護者からの情報	141	5.3	69	2.0	41	4.3	18	1.5	1	7.1	0	0	183	5.1	87	1.8
地域の住民からの情報	12	0.5	10	0.3	3	0.3	2	0.2	0	0	0	0	15	0.4	12	0.3
学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	5	0.2	5	0.1	0	0	1	0.1	0	0	1	3	5	0.1	7	0.1
その他(匿名による投書など)	3	0.1	3	0.1	1	0.1	1	0.1	0	0	0	0	4	0.1	4	0.1

4 いじめの現在の状況

いじめの現在の状況の件数(令和3年3月末)



いじめの現在の状況の割合(令和3年3月末)



区 分	小学校		中学校		高等学校		合 計	
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
解消しているもの	1,962	74.2	763	79.4	9	64.3	2,734	75.5
解消に向けて取組中	675	25.5	193	20.1	5	35.7	873	24.1
その他	8	0.3	5	0.5	0	0.0	13	0.4
合 計	2,645	100	961	100	14	100	3,620	100

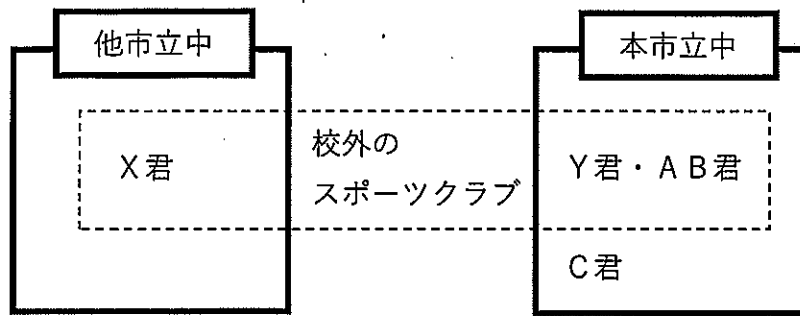
事例検討 (事例は、本市・他市の事例を複合、条件を変更させるなどした仮想のもの)

X君 (他市の市立中学 2年)
 Y君・ABC君 (本市の市立中学 2年) C君は元々不登校傾向 (原因不明)。

X君・Y君・AB君は学校外の同じスポーツクラブ所属 【p 2 関連図参照】

時期	概要
1月	<p>X君が、SNSに、「Y、ウザ、死ね」と書き込み。 Y君は、友達からそれを知り、Y母へ話をする。 Y母は担任に相談。 「息子もいろいろやってるみたいだし、更に人間関係が悪くなってはいけなくて、学校は知っておくだけにしておいて」「息子も、『学校には絶対言うな』と言っている」 担任は、学校いじめ防止委員会で情報共有。X君の学校へ「X・Y間でSNSのトラブルがある」旨伝えるに留める。</p>
2月下旬 (休日)	<p>X君と、Y君・ABC君が他市のショッピングモールで遭遇。X君・Y君が口論に。 Y君「X、口だけ」 X君「それ、お前だろ」「金魚のフン、今日は強気じゃん」 Y君が怒ってX君を蹴り、取っ組み合いのけんかに発展。双方、顔にあざ。Y君は鼻血。 B君は、けんかの様子をスマートフォンで撮影、動画共有サイト (YouTube) へ投稿。限定公開 (特定の友達のみ閲覧可)</p>
3月上旬	<p>他の女子生徒が、動画について担任に相談。 「動画がYouTubeに投稿されていた。今は見られないが、生徒間で拡散されているみたい」 学校は、5時間かけて動画内容を確認。その後、学校いじめ防止委員会で情報共有し、Y君・ABC君から聞き取りを行う。2月下旬の内容を把握し、方針決定 (Y母に被害届提出を促す、動画の入手と拡散防止、関係生徒への指導)</p> <p>【動画に記録されていた生徒の音声】 A君? 「<u>おい、お前、Y! こぶしでやれやっ!</u>」 「<u>お前ら、殴り合いしろや</u>」「<u>Y、(鼻血) 汚いなあ、おい</u>」 B君 「キモY、負けんな」 C君 「やりすぎじゃろー」「キモY、もーやめとけやー (笑いながら)」 (音声は雑音で発言者が分かりにくい。担任は、<u>音声</u>を聞いて、「A君の声に似ている、おそらくA君」との認識。) (映像にA君は映っていない。)</p> <p>【A君の発言に関する証言】 A君：一貫して否認。(その場に居たことは認める。) B君：<u>一貫してA君の発言を認める。「証言したことは絶対に秘密にしてほしい」</u> C君：一度A君の発言を認めるも、後に「教員に言われた」と否認。→不登校に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は、動画を保存していた生徒を特定。保護者に連絡の上、全員に削除させる。 ・担任ら教員は、Y君・ABC君へ指導、「警察にも連絡しないとイケない」と伝える。保護者へ連絡。 <p>Y母「最初に手を出した息子が悪い。大きなことにしたくない」「息子は『ABC君以外に友達はいない』と言っている」「ABC君への個別指導はやめてほしい。」「警察沙汰もやめてほしい」 A父「X・Yが勝手にけんかを始めたのに、それを煽った首謀者のように指導された。」「息子の発言についてはC君も否定している。」「心外なので、担任の詫言状を出すか、謝罪の会をしてほしい」「拒否するなら、担任を糾弾するピラを作成して、地域で配布する」 C母「息子からは『けんかを止めた』、と聞いている。A君らと同列に指導されるのは納得できない。担任に『警察沙汰にする』と脅され、強引な聞き取りをされたせいで不登校になった。」「元々、担任の指導は雑で不満があった。担任が出勤している間は登校できない」「担任は休みがちと聞いている。担任がいないなら登校できるので、毎朝、出勤状況を連絡してほしい」</p>

(参考) 相関図



従前、学校の認識していた、Y・ABC間の力関係は、「A・B>C>>>Y」
(実態と異なる可能性あり。)

(対応における留意点)

- 1 Y母 (1) 「ABC君への個別指導はやめてほしい。」との要望
(2) 「警察沙汰(警察連携)もやめてほしい」との要望
- 2 A父 (1) A君の扇動を否定する主張
(2) 担任の詫言状等の要求
(3) 担任を糾弾するビラを配布する主張
- 3 C母 (1) 担任の対応により不登校になった等の主張
(2) 担任がいると登校できない旨の主張
(3) 担任出勤状況の報告の要望

(今後の指導・支援における留意点)

- 1 Y君
- 2 A君
- 3 B君
- 4 C君
- 5 X君 (の学校・教育委員会との連携)